

令和元年第5回定例会一般質問通告事項

12 月 4 日	柿本和彦議員（平成会）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 安全安心なまちづくり～プレジャーボートの放置艇対策について～</p> <p>(1) 何故、広島県では放置艇数が全国ワーストワンになっているのか。また、その状況をどのように考えているか</p> <p>(2) 尾道市海域ではどの程度の放置艇があるか。また、広島県内の他の海域はどの程度の放置艇が存在しているか</p> <p>(3) 広島県はこれまでどのような対策を進めているか。また、今後、どのように進めていくのか</p> <p>(4) 係留の許可制や令和5年度から実施予定となっている使用料徴収は具体的にはどういった施策なのか</p> <p>(5) 今後、放置艇対策について、市民への周知や協力依頼をどのように進めていくのか</p> <p>(6) 既に、廃船となっている場合、どのように処理をするのか？また、持ち主不明の廃船は誰が処理するのか</p> <p>2 魅力ある地域資源の発掘～文化財の保存・活用について～</p> <p>(1) 尾道市内では、寺社仏閣や仏像等の文化財を火災から守るため、どのような対策が取られているか</p> <p>(2) 文化庁が行った防火設備整備状況等の緊急アンケート調査に関して、尾道市ではどの程度の文化財が調査対象で、どのような回答を行ったのか</p> <p>(3) 全国各地で仏像や刀剣等の美術工芸品が盗難に遭うという事件が発生しているが、尾道市として何らかの対策を取っているか</p> <p>(4) 今後、住職が居なくなるいわゆる“無住”のお寺が急激に増え、30年後には小さな寺院のほとんどが“無住”になると言われているが、尾道市においてはどのような状況なのか</p> <p>(5) 文化財の保存管理は個人レベルでは解決できない状況になっていると考えるが、行政で補助金等を出して、防火対策、防犯対策等を実施することについてどのように考えるか</p> <p>(6) 個々の寺社仏閣が保有する文化財を個人レベルで保存管理することは困難になってきており、例えば、旧筒湯小学校を改築して、文化財の保管庫として活用してはどうか</p>	

<p>12 月 4 日</p>	<p>(7) 文化財を活用して、交流人口を増やしていく、例えば、海龍寺の鎖山を観光資源として活用できるよう整備し、そこに至る動線となる、道路の美装化を進めている久保地区の賑わいを創出してはどうか</p> <p>(8) 尾道市文化財保存活用計画が策定されてから8年余り経過しているが、その間の成果や進捗、また、次の10年に向けての計画をどのように考えているか</p> <p>3 安全安心なまちづくり～中高年のひきこもりについて～</p> <p>(1) 内閣府では40～64歳のひきこもり状態の人について、どのような方法で調査を行い、全国に61万3,000人いるという結果を公表したのか</p> <p>(2) 尾道市において、中高年のひきこもりについての対策を検討する場合、まずは実態把握をすることが何よりも大切になってくると考えるが、内閣府が行った調査結果の割合を尾道市の人口に当てはめると、尾道市における中高年のひきこもりは何人くらいになるのか</p> <p>(3) 厚生労働省が推進している、ひきこもり対策推進事業“ひきこもりサポート事業”はどのようなものか</p> <p>(4) 尾道市において、“ひきこもりサポート事業”を積極的に推進し、まずは、ひきこもりサポーター養成研修を実施して、ひきこもりサポーターが活躍する仕組みを創ってはどうか</p>
-----------------------------	--